



南風

6月18日(金)発行

四日市市立南中学校

**学校はみんなが主役です
皆が楽しく皆が笑顔で**

本校には、今年639名の生徒の皆さんが毎日の生活を送っています。学校は、そのすべての皆さんに学校が毎日楽しく充実し笑顔で生き生きと活動できるよう工夫と努力をしています。しかし、学校というところは、多くの皆さんが自分を磨き学習をする場所ですから、毎日いろいろな事が起こり理想通りにはいきません、でも一人ひとりが気をつければその理想に近づくことはできると思います。今日は、このことについて考えてほしいことを書くことにします。それは、時折皆さんの友達や級友に対し思いやりのない「言動」に心が痛むことがあります。人間には、自分ではどうしようもできないことがたくさんあります。例えばそれは、一人ひとりの姿かたちの違いであり、得意なことがあり不得意なこともあるなどです。さらに、家庭の状況が違ったり病気や障がいがあるなど、本人ではどうすることもできないことがたくさんあります。それらの本人ではどうすることもできないことに対し、思いやるばかりか傷つけるような言動が時にみられます。悲しいことです。考えてみてくださいどんな人でも、病気になるたくて病気になる人はいないのです。みんなが平等であるはずなのですが、人はそれぞれ違うのです。でもそれぞれ違うみんなが、楽しく笑顔で送れるように助け合ったり補い合ったりしながら一緒に歩いていく工夫ができるのが、人間のすばらしさなのです。自分自身が毎日楽しく元気に過ごしたいように、皆も同じ気持ちで過ごしたいのです。皆が楽しく笑顔で過ごせるように、皆が嫌な思いやつらい思いをすることのないよう少しの思いやりと優しさで、学校生活をより楽しく充実させてほしいと思います。

いいぞ南中生！地域の方が感謝！

6月初旬の夕暮れ日永地区内において、困っている様子の高齢の女性の方を、本校3年男子生徒である2名が気づき声を掛けましたそうです。女性は、道に迷ったらしくたいへん困っていたようです。そこで二人は、その女性の自宅場所を聴き、連れていってあげようと親切に対応し案内をしてあげていたそうです。その様子を見ていた、地域の方が事情を聴き最終的には、地域の方に引き渡したそうですが、その優しく親切な中学生の行動に、深く感動され学校へ「すばらしい生徒さんに感謝します」という連絡をいただきました。当たり前のことのように、実行できることがすばらしいですね！

これまで本校の生徒は、電車に乗るマナーが「なっていない」とか「騒いで困る」などの苦情を何度となく聴いていました。先日本校生徒が「高齢者の方に席を譲っていました。その様子がとても自然で爽やかであり、さらに今年度に入りこれで2度その様な場面に会いましたので、ぜひ皆さんに紹介してやってください。」という連絡をいただきました。日頃、苦情はよく頂くのですが、このような良いことで、地域の方に連絡を受けとても嬉しい気持ちになりました。

『23日から、期末テスト』

23日(水)から25日(金)まで1学期末テストです。1年生にとっては、3日間連続のテストは初めての経験で、不安も大きいかわかりませんが、毎日の授業を真剣に取り組んでいれば大丈夫です。不十分なところは、これまで学習した内容を土・日曜日を活かし、家庭で時間を費やしてでも繰り返し努力してほしいと思います。

2・3年生の皆さんは、これまでの経験から慣れていると思いますが、テスト準備のために部活動が休みになり、学習時間を確保できるようにしているのですから、後悔しなくてもすむように一人ひとりが有益に過ごし、充実感・成就感のある時間を過ごしてください。テストが終わって、「もう少し頑張っていれば」とか、「次から頑張ろう」と思わなくてもいいように、「今日」そして『今』という時間を大切に過ごしてください。